

都市みらい通信

IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成15年6月

(財)都市みらい推進機構

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> まちづくり情報
・羽生駅西口開発事業について | <input type="checkbox"/> 土地活用バンクへの土地登録募集について |
| <input type="checkbox"/> 都市再生研究会活動レポート | <input type="checkbox"/> 第1回 Mayor's Forum in Japan |
| <input type="checkbox"/> 都市みらいカレンダー | <input type="checkbox"/> 大阪駅北地区国際コンセプトコンペ
応募作品展示会について |
| <input type="checkbox"/> 第33回理事会、第18回評議員会開催 | <input type="checkbox"/> 財団人事異動 |

平成15年6月30日

□まちづくり情報

埼玉県羽生市では、東武伊勢崎線羽生駅西口周辺に分布する市公社所有地や工場跡地等の低・未利用地を、駅前広場整備や関連街路整備、駅舎改築等の基盤整備事業等と一体的に整備し、商業、交流等の新たな都市機能の立地を図ることで、市の新しい顔づくりを実施しています。

平成11年度の「低・未利用地有効活用促進臨時緊急調査」において、当財団は、有効活用促進のためのきっかけづくりのお手伝いをさせていただきました。

(開発調査部 森田)

羽生駅西口開発事業について

羽生（はにゅう）市は、埼玉県の北東部に位置し、東京へ60km、北には雄大な利根川が流れ、群馬県と接しています。人口は約5万8千人、田山花袋の「田舎教師」の舞台にもなったまちで、古くは藍染めが盛んで「衣料の町」として発展してきました。また、平成4年には東北自動車道・羽生インターチェンジが開通し、工業団地も整備され、埼玉県の北の玄関口となっています。

このような中、市街地の中心部に位置する羽生駅は東武鉄道伊勢崎線・秩父鉄道の分岐点であり、ターミナル駅となっていますが、現在の駅舎は改札口が東口のみで地平駅であり、古い自由通路があるものの、西口からの利用者には不便な状況にありました。

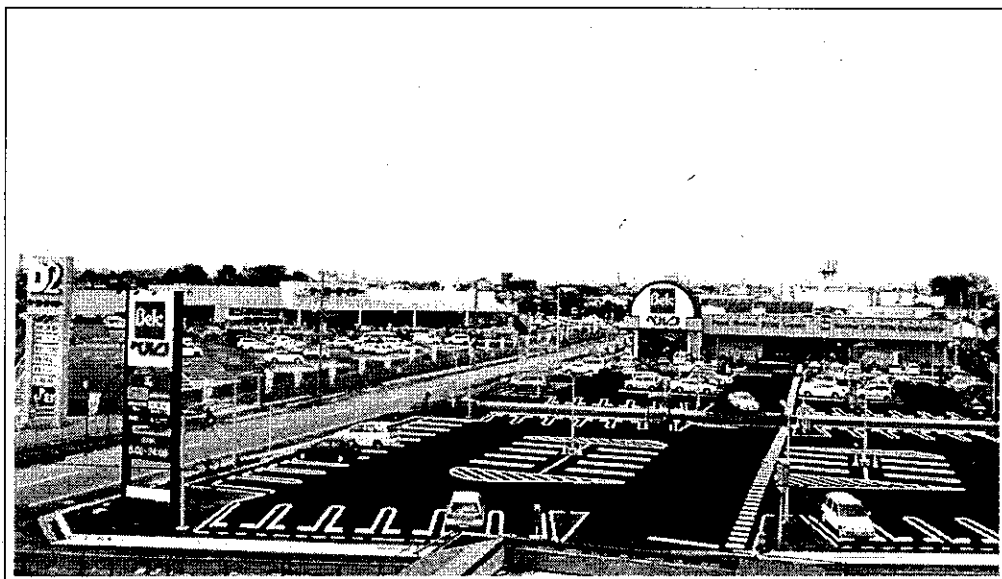
また、駅直近には大規模な工場が立地していて駅裏のイメージが強かったが、当該工場が市内工業団地に移転することとなり、その土地利用の転換を図るため、国土庁の補助による低・未利用地有効活用促進臨時緊急調査を実施し、行政と民間が一体となって、当該地を現在施行中の岩瀬土地区画整理事業区域（113ha）へと通ずる羽生の新しい玄関口として整備する「羽生駅西口開発事業」に着手しました。

まず羽生駅舎については、鉄道により分散されている東西の市街地を結ぶ橋上駅舎に改築し、美しさと利便性の高い駅舎として、平成16年秋の完成を目指して工事に着手しております。

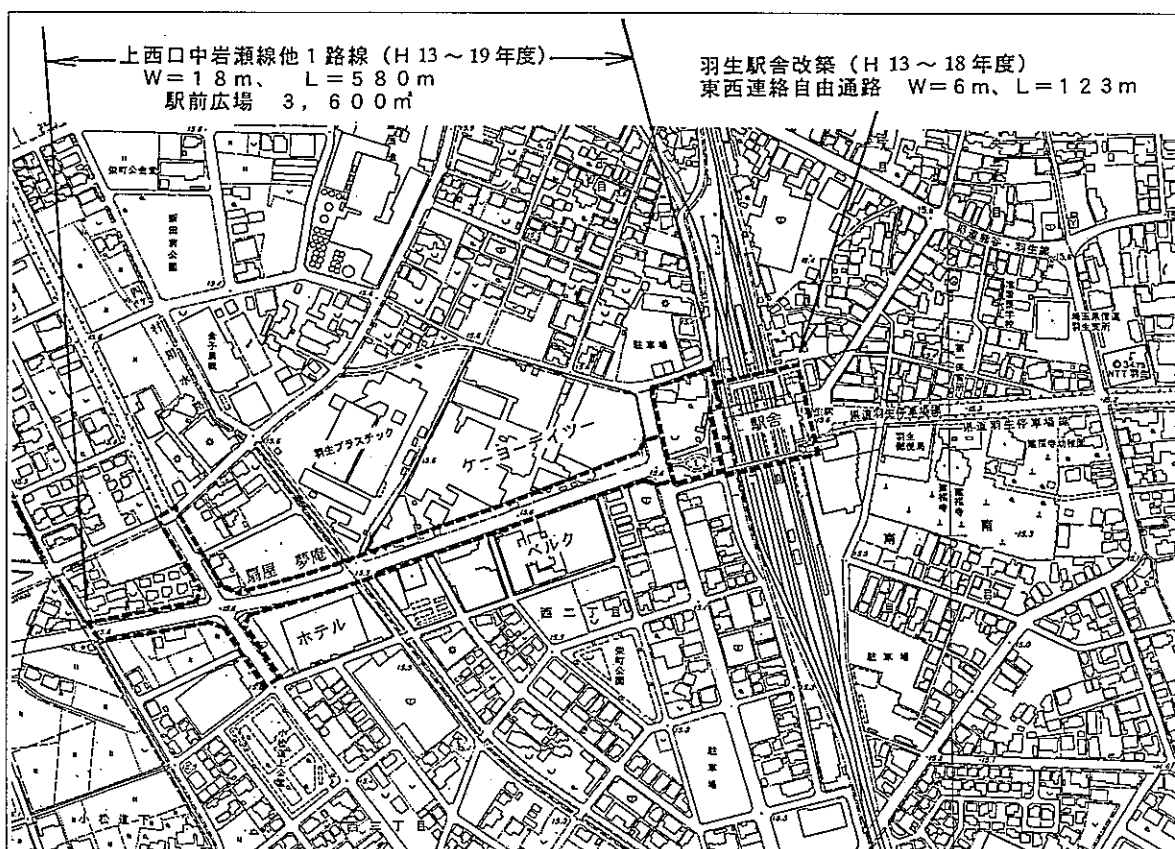
また、西口駅前広場（3,600㎡）及び都市計画道路（幅員18m、総延長530m）については「交通連携推進街路事業」及び「まちづくり総合支援事業」を導入し、平成13年度より7ヵ年事業で、駅前シンボルロードとして整備中であります。

さらに、羽生駅舎の改築が民間開発を誘発し、西口の大規模工場跡地については土地利用転換（有効利用）により、商業施設や市内初の本格的なホテルなど、さまざまな開発が進められ、これまでの駅裏のイメージを払拭する駅前都市空間の整備が行われています。

（寄稿：羽生市企画財政部政策推進室）



駅前に整備された商業施設



基盤施設等整備計画図

■都市みらい進機構の自主研究「都市再生研究会」は、会員企業45社90名の参加を得て、5つのワーキンググループ(WG)、4つのサブWGの体制で活動中です。都市みらいオリジナルの都市再生理念を創出し、大都市圏を対象とした都市再生モデルプランを構築、都市再生本部等や主要自治体に対する政策提言を目指しています。(6月23日第8回幹事会にて中間まとめ案審議)

■ワーキンググループ活動報告 ~中間まとめに向けて~ (第7回幹事会議事録より)

- A-WG: 1章では都市再生本部等の狙い・識者等の意見の整理を通じて、「都市の魅力」を重視する必要がある、という共通の主張を抽出。さらに、国際競争下での日本、東京の現状を考察し、魅力ある都市像検討の意義を明確化する。
2章では魅力とは何かについて考察、品質という視点から都市を捉えてみる。東京は「仕方ない」から「気に入らない」局面に差し掛かっているという危機感・問題提起。
3章では都市の魅力のキーワードを整理。魅力の要素の展開を試行する。今後ブラッシュアップを行う。以上を中間報告に充てたい。
B-WB: ターゲットの検討を通じてスター産業と観光をどう位置づけるかを議論。国際競争力強化のため日本の都市の魅力向上が必要。国内の観光需要増と海外からの観光客受け入れ拡大を通じて観光は今後伸びていく産業。生活・就業の場としての魅力向上が都市の魅力を高め観光客を誘引すると仮定し、都市型観光を対象とする。都市型観光には街のブランドが重要。民間事業者、国・都などへのヒアリングを実施、公民連携・役割分担、規制緩和、既存事業手法の改善など、観光の視点からみたまちづくり方策を検討していく。全体の流れを整理したところであり、今考えていることを詰め込んだ。今後この中を太く整理していく。
C-WG: 幹事団で協議の結果、①環境・基盤②交流・観光③情報をキーワードとして設定、集積を目指す都市機能と集積促進方策を検討していく。項目が盛りだくさんなのでスリム化して検討したい。
D-WG: 東京臨海SWGでは都市再生緊急整備地域の中から検討・絞込みを行った結果、青梅地区を対象とすることとした。国際観光をキーワードとしてカジノ・映像・IT等可能性を検証し、青梅地区の構想を練る。都の新しい構想等も盛り込んでいく。水上交通や川の駅整備による上野一臨海の連携の仕掛け作りなど観光の流れをうまく導ける方法を考えたい。対象地域・テーマについて、東京都へのヒアリング(産業労働局・港務局)等を通じてポテンシャル評価を付加し、肉付け。つくばXP-SWGでは対象地域をつくばエクスプレス沿線から台東区浅草地域に絞り込んだ。知事本部(3/26)、台東区(5/20)へのヒアリングを踏まえ、特に浅草通り活性化と蔵前一丁目を重点化する。
大阪: 情報収集・意見交換を行い勉強中。観光をキーワードとして大阪活性化を検討する。臨海部SWGではコスモスクエア、カジノ構想、水の都大阪の再生等のスタディを深める。大阪府商工労働部(5/14)、大阪市港務局(5/19)のヒアリングを実施済み。内陸部SWGでは中之島地域の魅力アップについて有識者等へのヒアリング・意見交換を順次実施。

■大阪部会勉強会(大阪臨海部の都市再生について-咲洲コスモスクエア地区を中心に)

5月19日、大阪部会の活動の一環として、都市再生緊急整備地域であり、大阪市の戦略的取組のひとつである咲洲コスモスクエア地区の現状と今後の展開について理解を深めるため勉強会(意見交換会)を開催しました。大阪市港務局から中村臨海部開発計画担当部長はじめ関係者のご出席をいただき、あらかじめ用意した質問事項への回答を得たほか、活発な質疑応答を通じて、臨海部サブワーキングの仮説検証にとって有意義な場となりました。

- 場所: 大阪市港務局会議室 WTCビル(WTCコスモタワー)45階
■参加者: 大阪部会メンバー+事務局(都市みらい推進機構)
■内容: 大阪臨海部の都市再生をテーマとした意見交換

- 1. 大阪臨海部の都市再生について(咲洲コスモスクエア地区を中心に)
①「テクノポート大阪」計画の今後の進め方について
②企業等の誘致について
③その他大阪臨海部の都市再生に関連する事項 など
2. 質疑応答・意見交換
3. その他

【参加者の声】

★具体策はまだないまでも、大阪市の検討の方向がわかり、大変勉強になりました。カジノ設置についての質問では、○パチンコ客はカジノに魅力を感じない○金を持っている高齢者がカジノに金を使うとは思えない○ラスベガスもカジノの見直しを始めている、といったカジノへの反対意見も飛び出し、今後の検討に課題を残す結果となりました。(推名委員:清水建設)
★講師の方の説明と質疑応答の時間割り振りも非常によく知識の吸収・不明点の討議に有効でした。大阪市の計画内容等をより詳細に知り得ただけでなく、研究会メンバーの知識・理解度が高まり情報を共有化できたことは今後の研究会活動を進めるうえで意義深かった。(桐井委員:東亜建設工業)

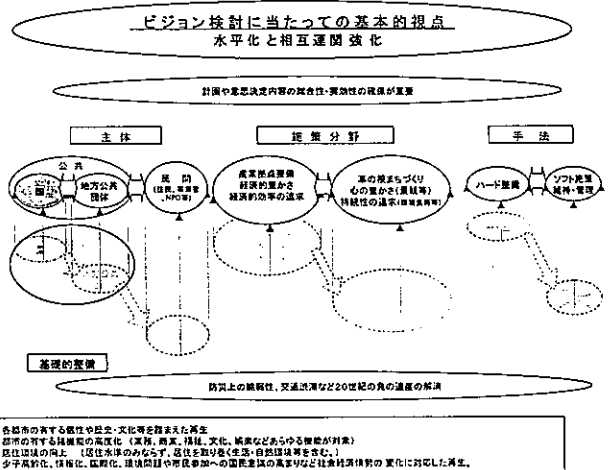


▲大阪部会勉強会(大阪臨海部の都市再生)▲

■社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会 第4回都市計画部会 について(ご紹介)

6月9日、第4回都市計画部会が開催され、平成13年7月5日に国土交通大臣より社会資本整備審議会長に対してなされた諮問事項のうち、「21世紀型都市再生ビジョン」検討の今後の進め方について検討が行われました。とりまとめイメージ等は以下のとおりです。

- 1. とりまとめイメージ
これまでの審議成果を踏まえつつ、以下の内容について都市再生に係る全体を鳥瞰する形でとりまとめ。
①都市を取り巻く諸状況の変化等が我が国の都市及び都市政策に与える影響やそれに伴う課題
②今後、講じていくべき都市政策の基本的方向
③当面、優先的にその実現を図るべき具体的施策の基本的内容
2. 今後の審議分野について
諮問事項のうち早急な対応が求められるテーマについては、既上記1.の各内容に関して、優先的に審議頂いてきているところ。このため、これまで都市計画部会としての審議がまだ尽くされていないと考えられる以下の分野を中心として審議。
【基本的分野】 人口減少への対応、ライフスタイル、産業
【政策課題的分野】 駅周辺等の拠点的エリア、観光振興、景観、環境
【施策手法的分野】 既成市街地における優良な都市開発の推進、地域運営
地域調整・国レベルでの政策実効性・技術的助言充実
3. 基本的スケジュール
①本年中に最終的なりまとめ
②このため、部会については、以下のように概ね3~4回程度開催し、審議を推進。
(夏頃;たたき合作成)、秋頃;今後の審議分野(2.)に係る審議
冬頃;上記審議を受けた検討課題整理 ビジョンの概要について
年末;ビジョン(案)について、答申



【協力: 国土交通省都市・地域整備局企画課(都市再生推進室)】

都市みらいカレンダー

*印のある項目については、他ページに解説があります。

財団

月	日	項 目	備 考
6	3	東久留米産業振興会議	第1回
	6	大都市リノベーション研究会	
	13	京浜臨海都市再生予定地域調査委員会	
	20	*財団理事会・評議員会	
	25	大阪駅北地区全体整備構想策定委員会	
	26	第1回都市みらい講演会 「アメリカの都市再生から今後の日本の都市再生を考える」 (講師 ULI日本代表 サム・田淵氏)	
	26	都市再生研究会 幹事会	第8回
7	8	東久留米産業振興会議	第2回
	9	*第1回 Mayor's Forum in Japan (当財団後援)	
	15	エリアマネジメント調査研究会	第5回
	下旬	都市再生研究会 幹事会	第9回

インテリジェントシティ整備推進協議会

6	2	高崎市研究会にて対高崎市打合せ 定時総会 幹事会	
	10		
	24		
7	24~25	「IT CITY MESSE in GIFU」 (第4回全国都市づくり先進情報技術展) 視察会 まち協と共催	

地方の拠点まちづくり協議会

6	下旬	運営会議	
7	上旬	自主研究「岐阜市福祉のまちづくり実現化方策検討調査」 キックオフミーティング 運営会議 「IT CITY MESSE in GIFU」 (第4回全国都市づくり先進情報技術展) 視察会 インテリ協と共催	
	中旬		
	24~25		

都市地下空間活用研究会

6	6	監事監査 第17回評議員会・第16回定時総会 中心市街地と地下街のあり方分科会 全体会	
	18		
	25		
7	10	都市交通分科会 全体会	

第33回理事会、第18回評議員会開催

6月20日（金）財団会議室において、理事会、評議員会を開催。

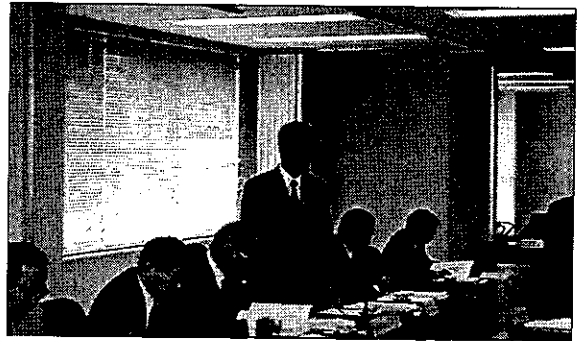
○第33回理事会

国土交通省竹歳大臣官房審議官（都市・地域整備局担当）、原田都市計画課長、松井都市総合事業推進室長他ご臨席のもと、以下の議題についてご審議いただき、いずれも原案通り議決されました。

なお、寄附行為は、役員の選任を「国土交通大臣の承認」から「評議員会が選任」に変更するなど、公益法人の標準モデルに準拠した変更をするものです。

議題

1. 平成14年度事業報告及び決算（案）
2. 平成15年度事業計画及び予算（案）
3. 寄附行為の変更（案）（標準モデルに準拠）



○第18回評議員会

上記理事会の決定事項を報告し、寄附行為の変更について同意されました。

【「土地活用バンク」への土地登録をお待ちしています！】
<http://www.bank.tochi.mlit.go.jp/>

「土地活用バンク」は、国土交通省が情報を提供している、全国の活用可能な土地が検索できる大変便利なホームページサイトです。

ただいま「土地活用バンク」に登録される土地を募集しております。

登録された土地はバンクを通じて全国に情報が提供されるだけでなく、国土交通省が土地活用促進のために実施する各種調査の対象となることがあります。

登録は、ホームページ上からいつでも行うことができます。詳しいお問い合わせはこちらまでどうぞ。

（「低・未利用地バンク」は「土地活用バンク」に改称いたしました。）

財団法人都市みらい推進機構

企画調整部 西尾

開発調査部 富田

TEL : 03 (5976) 5860 FAX : 03 (5976) 5858

E-mail : webmaster@bank.tochi.mlit.go.jp

第1回 Mayor's Forum in Japan

日本政策投資銀行とULI（Urban Land Institute）との共催により、日米の自治体の首長が地域開発の課題と解決策等についてディスカッションを行う日本初の首長会議（Mayor's Forum in Japan）です。ここに私共の財団も後援しております。

『米国工業地帯の再生に学ぶ地域開発手法』をテーマに、各自治体の地域開発上の具体的な課題や問題点の解決策等について、有益な意見交換が期待されております。

（企画調整部長 篠原）

大阪駅北地区国際コンセプトコンペ応募作品展示会について

大阪市等が主催した「JR大阪駅北側の梅田貨物駅敷地（24ha）の開発構想」に関する国際コンペは、去る3月31日に入賞者の発表が行われました。水や緑を生かした作品が優秀作品として選定されています。大阪市は最終審査対象作品55作品の展示会を下記にて行うこととしています。皆様のご来場をお願いいたします。

- 展示期間：2003年6月28日（土）から7月24日（木）
- 開場時間：11：00～19：30 入場は19：00までに（日曜、祝祭日は休館）
- 場 所：TNプローブギャラリー
東京都港区北青山3-8-1 ハナエモリビル5階
- タイトル：「大阪駅北地区国際コンセプトコンペ応募作品展示会」
- 主 催：大阪駅北地区国際コンセプトコンペ実行委員会

人事異動のお知らせ

- （6月30日付）【退任】開発調査部長 木瀬晴也
- （7月1日付）【新任】開発調査部長 稲岡英昭（前：都市基盤整備公団）
開発調査部新発田まちづくり支援室調査課長
今野栄夫（前：㈱オオバ）

あとがき

“インターネット”は、今では毎日使うものですが、一昔前までは耳にしたことのない用語でした。元々は米国で軍事、研究の分野で使われてきたもの、とのことですが、小生は10年余り前にInformation Highway関連の講演で初めて具体的に知ったものです。

インターネットをはじめとして、IT分野では場合によっては予測の範囲外の革新的な新技術が出現し、それが社会を飛躍的に進歩させてきたことは言うまでもありません。

だからと言って、都市づくりの中でITを組み込めば事足り、という訳にはいかないのが難しい所だと思います。つまり、これまでITによる効果ははっきりと出てきたのは、いわゆる革新的な新技術を背景とした場合で、“地域にフィットしたIT”による地道な効果を出すには、大変な苦勞を要してきたように感じられるからです。

しかし、これからは各界の連携によるトータルソリューション的な取組みにより、ソフトや活用方策を含めその地域に最適なIT化の実現が一層重要になってくることは間違いありません。従って今後はこういった面からも、公民学のパートナーシップ構築の仲介役としての都市みらい推進機構の重要性は、一層高まってくると思う次第です。

開発調査部部长 坂巻

発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL：03（5976）5860

FAX：03（5976）5858

kikaku@toshimirai.or.jp

<http://www.toshimirai.or.jp>